

## 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ )【泉ゼミ】		授業コード	E002626
担当教員名	泉 丙完		科目ナンバリングコード	E31203
配当学年	3	開講期	通年	
必修・選択区分	必修	単位数	4	
履修上の注意または履修条件	教わるだけでなく、自ら調査し問題を発見、解決案を提案できること。			
受講心得	活発に討議や発表に参加すること			
教科書	参考資料配布			
参考文献及び指定図書	VEとTRIZ、澤口学著(同友社) 他			
関連科目	経営学入門、プロジェクトマネジメント論、eビジネスマーケティング論			

授業の目的	本ゼミでは、メーカーやITビジネスにおける技術マネジメントについて幅広く学び、卒論にむけた課題の発見、解決案の提案と検証に取り組む。特に、メーカーやITビジネスに携わることを希望する人を対象とし、開発管理、生産管理や品質管理等の経営工学の基礎を学んだ上で、具体的な企業の事例研究を行い、卒業論文としてまとめる。
授業の概要	技術マネジメントに関する基礎知識の講義を行う。本ゼミでは、製品開発、生産管理や品質管理等の基礎的な技術マネジメントについて学んだ後、各自が特定の企業における、具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行う。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：</b> ゼミナールⅡA/Bで調査発表した、内容を踏まえ、本ゼミでの各自の研究目標を議論する。また、卒論に向けた活動の行動計画を策定する。	資料配布プレゼン資料作成用PC必要
<b>第2週：</b>  各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)
<b>第3週：</b>  各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)
<b>第4週：</b>  各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)
<b>第5週：</b>  各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)

<p><b>第6週：</b></p> <p>各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。</p>	<p>各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)</p>
<p><b>第7週：</b></p> <p>各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。</p>	<p>各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)</p>
<p><b>第8週：</b></p> <p>各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。</p>	<p>各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)</p>
<p><b>第9週：</b></p> <p>各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。</p>	<p>各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)</p>
<p><b>第10週：</b></p> <p>各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。</p>	<p>各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)</p>
<p><b>第11週：</b></p> <p>各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。</p>	<p>各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)</p>
<p><b>第12週：</b></p> <p>各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。</p>	<p>各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)</p>
<p><b>第13週：</b></p> <p>各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。</p>	<p>各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)</p>
<p><b>第14週：</b></p> <p>各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。</p>	<p>各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)</p>
<p><b>第15週：</b></p> <p>各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。</p>	<p>プレゼン資料(各自:1h)</p>
<p><b>第16週：</b></p>	

予備	
<b>第17週:</b> 各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	資料配布プレゼン資料作成用PC必要
<b>第18週:</b> 各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)
<b>第19週:</b> 各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)
<b>第20週:</b> 各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)
<b>第21週:</b> 各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)
<b>第22週:</b> 各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)
<b>第23週:</b> 各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)
<b>第24週:</b> 各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)
<b>第25週:</b> 各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)
<b>第26週:</b> 各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)

第27週:	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)	
各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。		
第28週:	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)	
各自、特定企業における具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。		
第29週:	各自、研究対象の企業について与えられた課題を事前調査検討すること。(1h)	
卒論にむけたまとめと確認を行い、レビューを行う。		
第30週:	プレゼン資料(各自:1h)	
卒論の指摘事項を見直し、発表の準備を行う。		
第16週:		
予備		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	製造業やIT関連産業に興味があること。
【知識・理解】	将来、製造業やIT産業に従事するための基礎知識
【技能・表現・コミュニケーション】	製造業マネジメントのためのコミュニケーション能力を有する。
【思考・判断・創造】	講義、演習を通して製造業における問題解決をイメージできる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	60点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点		
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			30点	

<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。			<b>30点</b>
<p><b>(「人間力」について)</b></p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>			

<b>○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安</b>	
<b>成績評価方法</b>	<b>評価の実施方法と達成水準の目安</b>
<b>レポート・作品等 (提出物)</b>	各自が決めた企業に関する調査報告。 また、出席状況・受講態度も考慮する。
<b>発表・その他 (無形成果)</b>	ゼミにおける発表と討論への参加状況。